

脳動脈瘤に対して血管内治療での治療歴がある

患者さんまたはご家族の方へ (臨床研究に対するご協力をお願い)

獨協医科大学埼玉医療センター脳神経外科では、上記の病気で受診された方の診療情報（カルテ情報）を使用して臨床研究を実施いたしております。本研究に該当する可能性のある方のご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また、ご協力いただけない場合であっても今後の治療に不利益を受けることはございません。

本研究への協力を望まれない患者さんおよび本研究の詳しい内容（実施計画書・関連資料等）について閲覧になりたい方は、下記の【問い合わせ先】までご連絡をお願いします。

【研究課題名】

脳動脈瘤に対するGuidepost中間カテーテルとEchelonマイクロカテーテルを組み合わせたコイル塞栓術の有効性と安全性

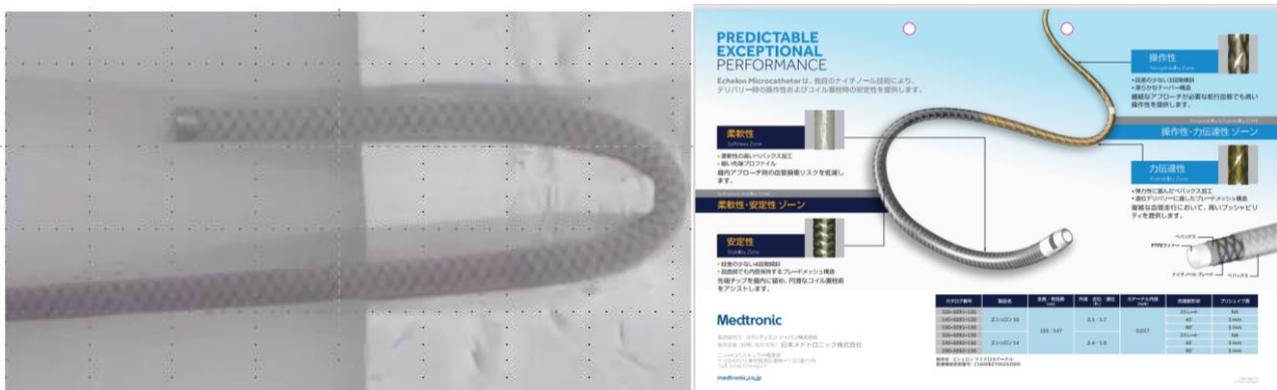
【研究の背景と目的】

脳動脈瘤に対する血管内治療は、治療に用いるデバイスの進歩が著しい分野となっています。コイル塞栓術に関しては、動脈瘤内にマイクロカテーテルを誘導してコイルを充填していきます。しかし、コイル塞栓時に複数本のマイクロカテーテルを用いて治療する場合には、体内でマイクロカテーテル同士が干渉して予想通りの血管走行を取るとは限らないことが問題点として挙げられます。

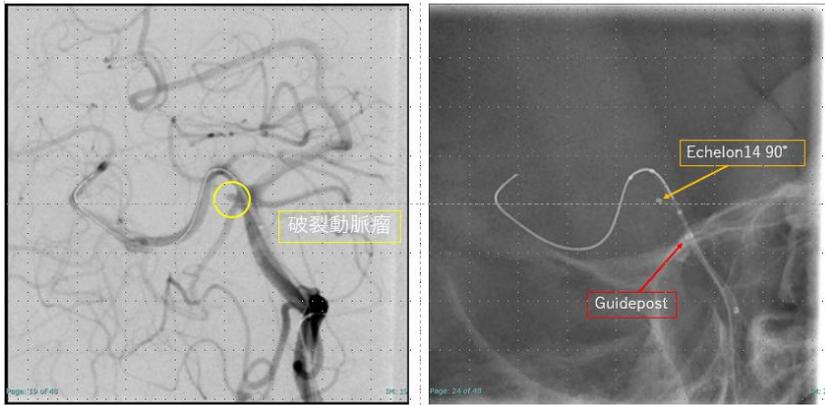
当施設では、上記問題点を解決するために Guidepost 中間カテーテルと Echelon マイクロカテーテルという二つのデバイスを用いてコイル塞栓を行うようにしています。これらのデバイスは操作性・柔軟性に優れており、安定したコイル塞栓を可能にしています。

今回の研究は、これらのデバイスを使用して脳動脈瘤の治療をした患者さんのカルテ情報を使用して治療成績や安全性についてまとめます。

Guidepost 中間カテーテルと Echelon マイクロカテーテル



実際の治療画像



【対象となる方】

2021年12月1日から2024年2月29日までの期間に当院にて2つのデバイスを使用して脳動脈瘤に対するコイル塞栓術を受けた20歳以上の方で下記の条件を満たす方とさせていただきます。

- 1) 未破裂脳動脈瘤の患者
- 2) 今回の瘤内塞栓術が対象の動脈瘤に対して初回治療となる患者
- 3) 動脈瘤の最大径が10mm以下の患者
- 4) 動脈瘤の形状が嚢状の患者

【使用する診療情報】

使用する検体や診療情報は以下のとおりです。なお、収集したデータは、研究責任者のもと適切に保管・管理致します。

患者さんの基本情報：年齢、性別、高血圧の有無、糖尿病の有無、高脂血症の有無、喫煙の有無、
脳動脈瘤の家族歴の有無

動脈瘤の状態：脳動脈瘤の状態（破裂・未破裂）、脳動脈瘤の部位、動脈瘤の最大径、動脈瘤のネック
径など

手術の情報：手術日、治療の方法、治療直後の体積塞栓率、治療直後の動脈瘤の塞栓状態、治療中の
合併症の有無など

術後の経過情報：治療後最終フォローアップ時点の動脈瘤の塞栓状態の評価（評価日、評価方法、塞
栓状態）、治療後の再発の有無、再治療の有無

【研究期間と参加予定人数】

この研究は病院長の許可日（2024年4月4日）から2025年12月31日まで実施され、50名の患者さんが対象となっております。

【個人情報の保護】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを特定出来る個人情報は削除し、収集されたデータは、個人が特定できないよう通し番号などで匿名化されたのち解析を行います。

また、使用したカルテ情報を廃棄する際も個人情報を削除して廃棄いたします。

【結果の公表】

この研究で得られた情報を、脳神経外科関連学会や医学雑誌などに発表させていただくことがありますが、この場合であってもあなたの名前や個人を識別する情報は一切公表されません。

【研究責任者】

獨協医科大学埼玉医療センター 脳神経外科 滝川知司（准教授）

【問い合わせ先】

埼玉県越谷市南越谷 2-1-50

獨協医科大学埼玉医療センター 脳神経外科 担当者：成合康彦（助教）

電話番号：048-965-8682（医局直通） 受付時間（平日のみ）：9:00 ～ 14:00

以上